公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和5年度兵庫県高等学校サッカー新人大会　　準決勝 【 54 】

主審署名：松崎　尚史

日時	2024 年 2 月 3 日（土） 13 ： 00 キックオフ			会場	アスパ五色メイン		
天候	晴れ	強風		天然芝・人工芝・クレー	状態	良好	試合形式 70 分 ／ 延長 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	石塚　俊一	記録	芝切　淳 ／ 平野　敦士	観衆	288 人
主審	松崎　尚史	副審1	堀　善仁	副審2	藤原　悠人	第4の審判員	清　大助

チーム名			チーム名
報徳学園高校	1	0 前半 0 / 1 後半 0 / 延前 / 延後 / PK戦	0	神戸弘陵学園高校

kick off

選手番号 ○× 先 PK戦　　PK戦 選手番号 先 ○×

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					北迫　大和	2年	21	GK	GK	1	歌野　裕大	2年					分	
	分					小金丸 翔大	2年	29	DF	DF	5	阪上　聖恩	2年					分	
	分					松岡　太一	2年	85	DF	DF	14	村田　駿	2年					分	
	分					三谷　颯麻	2年	16	DF	DF	3	藤本　達真	2年					分	
	分					大西　律輝	2年	33	DF	DF	2	東丸　隼士	2年					分	
	分					中里　瞭希	1年	22	MF	MF	22	梅原　良弥	1年		1			分	
	分					椎山　寛大	2年	62	MF	MF	8	木津　奏芽	2年	1	1			分	
	70+2 分			1＊		横畑 進次朗	2年	75	MF	MF	7	中邑　蕾羽	2年					58 分	
	分				1	阜山　和夢	2年	14	MF	FW	10	石橋　瀬凪	2年	1	2			分	
	分				1	中嶌　大和	2年	34	MF	FW	9	下醉尾 朔也	2年	1	1			分	
	50 分					堀田 誠之助	1年	58	FW	FW	16	大垣　颯楽	2年					HT 分	
	分					光岡　大翔	2年	31	GK	GK	12	鹿屋　舷	1年					分	
	分					高須賀　蓮	2年	44	DF	DF	20	亀井　塁	2年					分	
	分					山本　結之輔	1年	53	DF	DF	23	今井 凛太朗	1年					分	
	分					野田　琉真	2年	76	DF	MF	6	井田　琉汐	2年					分	
	分					酒井　優多	1年	38	MF	MF	24	野元　幹太	1年					分	
	分					平丸　慧	1年	39	MF	FW	11	エゼモクェ ダニエル 段	2年					分	13
75	分					板垣　優太	2年	37	FW	FW	13	宮脇　爽	2年		1			58 分	16
	分					本池 煌士郎	1年	43	FW	FW	19	青野 真羽人	2年					分	7
58	分					山脇　蔵人	2年	97	FW	FW	29	檀野　護蔵	2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					3			1	2	シュート	3	6			9	分				
分					13			5	8	ＧＫ	1	1			2	分				
分					0			0	0	ＣＫ	2	1			3	分				
分					8			5	3	直接ＦＫ	4	6			10	分				
分					0			0	0	間接ＦＫ	0	1			1	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
52 分	報徳	75	横畑	1 － 0	中央　75　S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 芦屋学園／神戸科技 】　氏名 【 吉本英／谷知 】

報徳、神戸弘陵ともに、1−4−2−3−1で試合を始める。立ち上がり、58堀田を残し、低い位置でブロックをつくって、カウンターをしかけたい報徳に対し、状況によって、神戸弘陵はSB2東丸を1列上げて前に人数をかけてボールを運び、10石橋の突破を活かした攻撃をする状況が続く。試合展開が落ち着つき、報徳が前からプレスをかける場面が増え、中盤で前向きにボールを奪えたときにするどい攻撃をする。対して報徳の1列目のプレスを受けたとき、前線に長いボールを供給し、9下醉尾が収め攻撃の糸口を探る。攻守の切り替えが早い展開だったが、お互いあまりシュート場面を作ることができずに前半を終える。後半の立ち上がりは前半同様一進一退の展開で試合が進む。神戸弘陵は後半に入った13宮脇が左サイドからチャンスを作り、中央8木津が右サイドに流れ、報徳ゴールに迫るが、報徳85松岡29小金丸を中心に粘り強くゴールを守る。報徳は、前線のプレスから中盤がボールを奪い神戸弘陵ゴールに迫り、52分中央で75横畑と16三谷のパス交換から75横畑がゴールを奪い先制をする。先制された神戸弘陵は、前線の交代選手を入れて幾度となく報徳ゴールに迫るが粘り強い守備に阻まれ試合を終える。一試合を通して豊富な運動量で報徳ゴールに迫った神戸弘陵に賛辞を贈るとともに、報徳の決勝での活躍を期待したい。

［備考］